

令和 5 年 7 月 13 日

2023 年度 北海道レフェリーアカデミー第 4 回 事業報告

岩本駿士（札幌地区）

日 時：2023 年 6 月 24 日（土）、6 月 25 日（日）

場 所：北海高等学校人工芝グラウンド、札幌市手稲コミュニティーセンター

参加者：審判員 高須賀哲平、丑屋幸大、及川凌夢、岩本駿士

インストラクター 古曾部統太郎 氏（RAM）、今川一輔 氏（RAI）

平石暁史 氏（RAI）、岡田渉 氏（RAI）

講 師：佐々木 様、高橋 様

テーマ：「表現する」

6 月 24 日（土）

8：00 集合 北海高等学校人工芝グラウンド

9：00 試合実践① 2023 年度 U18 高円宮杯札幌ブロックリーグ 2 部

北海高校 3rd vs 道科学大高校 Top 主審：高須賀 4th：岩本 担当 INS：岡田渉 氏

【自己分析】

概ね争点に対してのポジションで見ることができたが、もっといい角度で見るために 1～2 m の移動をすれば止まってみる時間が少なくなると感じた。試合を通して注意をしているが効果的ではなかったり、会場全体に誰が注意されているのかを認識しにくい場面があったりしたと感じた。

【INS より】

この試合に関して運動量、スピードは申し分ないと判断します。また、76 分のファウルの P A 内か外かのきわどい場面での判定は説得力のあるポジションでした。口頭で注意を行う場面と笛で対応する場面を効果的に使い分けることをお勧めします。口頭で選手が主審の意図を汲み取ってくれないのであれば、笛を使うのがスムーズであると思います。

11：00 試合実践② 2023 年度 U18 高円宮杯札幌ブロックリーグ 3 部

北海高校 4th vs 市立平岸高校 主審：及川 4th：丑屋 担当 INS：平石暁史 氏

【自己分析】

判定に関しては自信をもって判断でき、且つ冷静に試合をコントロールすることができた。しかし、動きに緩急がなくいつもゆっくりポジションを取るなので、先にポジションを取ることを次の試合から心がけたい。

【INS より】

ファウルの見極めは概ね正しく判断することができていた。しかし、選手が納得していない表情をしていたのはポジションが遠いからだと思います。先に走っておいてステイしたりジョグしたりする動きを次の試合で心がけてみてください。



13:00 試合実践③ 2023 年度 U18 高円宮杯札幌ブロックリーグ 3 部

札幌東高校 2nd vs クラーク記念国際高校 top 主審: 岩本 4th: 高須賀 担当 INS: 今川一輔 氏

【自己分析】

両チームの選手がフェアにプレーしていたため、レフェリーが登場する場面は少なかったが、裏を返せば少ないファウルを取り逃すことで、試合の温度感が大きく変わることにつながりかねないので、24 分の場面は笛を口に持って行ったのであればファウルとすべきであった。

【INS より】

4 分、47 分、57 分、61 分、64 分の動き出しの速さは大いに評価でき、状況に応じて幅を持ったポジションも魅力的でしたが、一方で 55 分、83 分は GK と FW の接触があるかもしれないという予測を持ち、素早い気づきからの動き出し等の対応に努めて欲しい。

15:00 試合実践④ 2023 年度 U18 高円宮杯札幌ブロックリーグ 3 部

札幌新陽高校 vs とわの森三愛高校 3rd 主審: 丑屋 4th: 及川 担当 INS: 古曾部統太郎 氏

【自己分析】

ファウルの基準に選手との差を感じた。また、試合への入りが悪く自信をもって判定することができなかったのも、自分がどんな状況であろうと見え方、見られ方を意識できるようにしたい。

【INS より】

56 分の PK については、判定・マネジメントをしっかりとできていました。笛の強さ、長さが気になりました。注意するならどのくらいの強さで吹くべきか、ほとんどのファウルで単調に吹いていた印象があります。

17:10 諸連絡・解散

6 月 25 日 (日)

9:20 集合@札幌市手稲コミュニティーセンター

9:30 前日の試合の振り返り

前日に担当した試合の振り返りを各インストラクターと行い、その後、前日の試合の映像を用いて良かった点・改善点を全体で共有しディスカッションを行いました。



10:20 競技規則講義 「動きとポジショニング・オフサイド」 担当: 古曾部統太郎 氏

本講義ではある試合の映像を用い、主審の良い点・改善点を全体でディスカッションし、ステップワークの整理やサッカーにおける展開の順番などを整理し、主審としてどのような動きが求められるかを整理しました。

また、オフサイドの判定について映像を用いながら、主審・副審として監視すべき優先順位は何か、副審としての任務の幅を広げる必要があることを確認しました。

11:30 R A I 講義 「主審と副審の協力」 担当: 平石暁史 氏

本講義では、映像を用いてどのように、どんな場面で主審と副審の協力が必要になるのかを全体で共有しました。また、競技規則の第 5 条・第 6 条も重要であることを再認識できました。



12 : 30 昼食

13 : 20 フィジカル講義「Endurance Ability improvement」

本講義では主審に求められるフィジカル能力として「Endurance」が挙げられました。Endurance とは 90 分 + α に耐える持久力・体力のことであり、Endurance を向上するメリットや持久力とは何かについて理解を深めることができました。

14 : 30 演劇 「相手に伝える」 講師：佐々木 様

本講義では、講師の方をお招きしどのようにしたら相手に自分の意図が伝わるかについて学びました。実際にアクティビティ（演劇）を個々人で行い、感情表現や、伝え方のプロセスをわかりやすくすることの様々な手法を学びました。

15 : 30 英会話 「初歩的な英会話」 講師：高橋 様

本講義では、講師の方をお招きし簡単な会話練習や自己紹介を通して基本的な英会話を学びました。練習を重ね全員がスムーズに自己紹介をできるようになりました。「できなくてもやってみる」という姿勢が大切だと気づかされた講義になりました。

16 : 30 諸連絡・解散

